

研究課題の名称

外来診療介助中のリフレッシュ方法とその効果

研究の目的及び意義

厚生労働省は在院日数を短縮化し、地域完結型の医療を推進する方針を掲げている。そのため、術前查は外来へ移行し、化学療法や放射線療法も外来で行うこと多くなっている。これに伴い専門性高い診療介助や業務量の増加により、外来診療が長時間に及び、身体的-精神的負担が増したと感じている看護師は少なくない。前回、業務の合間に水分摂取を実施しリフレッシュの効果について調査し、千の有意差を認めた。今回は方法を3つに増やしより効果的な方法を知ること、少しでも身体的・神的負担が軽減でき、個々が持っている能力を発揮することで、患者へ適切な看護の提供ができると考える。

研究対象者の選定方針

洛和会音羽病院外来で診療介助に付いている看護師で研究に同意を得られた者。

研究予定期間

承認日（西暦 2019 年 2 月 6 日から西暦 2019 年 5 月 30 日）